

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学 I (1年次)	単位数	3
授業形態	講義・演習形式				
選んでほしい生徒	1年次生全員 (必履修)				
科目の目標	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な1次不等式及び2次方程式が解けるようになる。 2 2次関数の有用性を理解し、グラフを活用し、基本的な2次不等式が解けるようになる。 3 三角比の意味を知り、正弦定理や余弦定理を活用できるようになる。 4 資料の散らばり方や特徴について学び、代表的な値を計算し、求めることができる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 数と式</p> <p>第2章 集合と命題</p> <p>【2学期】</p> <p>第3章 2次関数</p> <p>第4章 図形と計量</p> <p>第1節 三角比</p> <p>【3学期】</p> <p>第4章 図形と計量</p> <p>第2節 正弦定理・余弦定理</p> <p>第5章 データの分析</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張し、四則演算をする。 ・集合と命題の基本的な概念を理解する。 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 ・三角比の意味を理解し、相互関係について理解する。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解する。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力や図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、表や式やグラフを相互に関連づけて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	補助教材 数研出版 パラレルノート 数学 I 561円 (税込)				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学A (1年次)	単位数	2
授業形態	講義・演習形式				
選んでほしい生徒	四年制大学や短期大学、看護・医療系専門学校への進学を希望している人				
科目の目標	図形の性質、場合の数と確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学と人間活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 具体的な事象について、順列・組合せや確率を数学的に処理できるようになる。 2 論理的な思考力を伸ばす。 3 基本的な図形の性質を理解する。 4 基本的な整数の性質を理解する。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】 第1章 場合の数と確率</p> <p>【2学期】 第2章 図形の性質</p> <p>【3学期】 第3章 数学と人間の活動</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・順列及び組合せの意味を理解する。 ・確率の基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求める。 ・図形に関する基本的な性質について学習する。 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりや数学と文化の関わりについて理解を深める。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を見だし、論理的に考察する力や確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切に、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	補助教材 数研出版 パラレルノート 数学A 517円 (税込)				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学Ⅱ（2年次）	単位数	4
授業形態	講義・演習形式				
選んでほしい生徒	「数学Ⅰ」を履修済みで、大学への進学を希望している人				
科目の目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 複素数を理解し、因数分解や因数定理を利用して高次方程式が解けるようになる。 2 座標や式を用いて直線や円などの平面図形の考察ができるようになる。 3 三角関数や指数関数、対数関数を学び、グラフを活用することができるようになる。 4 微分・積分の考え方を理解し、グラフや面積の計算に応用できるようになる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 式と証明</p> <p>第2章 複素数と方程式</p> <p>第3章 図形と方程式</p> <p style="padding-left: 20px;">第1節 点と直線</p> <p>【2学期】</p> <p style="padding-left: 20px;">第2節 円</p> <p style="padding-left: 20px;">第3節 軌跡と領域</p> <p>第4章 三角関数</p> <p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【3学期】</p> <p>第6章 微分法と積分法</p>		<p>・式の計算・証明、複素数とその計算、高次方程式の解法、直線・円の方程式、軌跡と領域などについて学習する。</p> <p>・三角関数・指数関数・対数関数などについて学習する。</p> <p>・導関数、関数の増減・グラフ、積分法、図形の面積などについて学習する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<p>・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>・数の範囲や式の性質に着目し、論理的に考察する力、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、その特徴を数学的に考察する力や事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p>	<p>・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切に、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	問題集 979円（税込み）				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学B (2年次)	単位数	2
授業形態	講義・演習形式				
選んでほしい生徒	「数学I」を履修済みで、大学への進学を希望している人				
科目の目標	数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 ベクトルの概念を理解し、基本的な図形の考察に活用できるようになる。 2 空間の概念を理解し、座標空間における図形の考察ができるようになる。 3 簡単な数列を理解し、その和を求めることができるようになる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 数列</p> <p>第1節 等差数列と等比数列</p> <p>第2節 いろいろな数列</p> <p>【2学期】</p> <p>第3節 漸化式と数学的帰納法</p> <p>第2章 統計的な推測</p> <p>第1節 確率分布</p> <p>【3学期】</p> <p>第2節 統計的な推測</p>		<p>・等差数列・等比数列・数列の和などについて学習する。また、命題の証明に活用できる数学的帰納法についても学習する。</p> <p>・確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差について学習する。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<p>・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p>	<p>・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切に、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	問題集 979円 (税込み) 【※ 数学IIを選択している生徒は、不要】				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学C (2年次)	単位数	1
授業形態	講義・演習形式				
選んでほしい生徒	「数学I」を履修済みで、大学への進学を希望している人				
科目の目標	ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> ベクトルの概念を理解し、基本的な図形の考察に活用できるようになる。 空間の概念を理解し、座標空間における図形の考察ができるようになる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>第1章 平面上のベクトル</p> <p>第1節 ベクトルとその演算</p> <p>第2節 ベクトルと平面図形 (1～4)</p> <p>【2学期】</p> <p>第2節 ベクトルと平面図形 (5～7)</p> <p>第2章 空間のベクトル (1～3)</p> <p>【3学期】</p> <p>第2章 空間のベクトル (4～7)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 日々の授業を大切に、課題はその日のうちに仕上げよう。 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	特になし				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	実践数学（2年次）	単位数	2
授業形態	演習形式				
選んでほしい生徒	就職を希望している人				
科目の目標	日常生活において必要とされる数学的能力や自分の進路を切り開く力を身に付け、数学検定3級以上を取得する。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な計算ができるようになる。 2 ものごとを数学的に見たり考えたりすることができるようになる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】 計算技能の習得1～7</p> <p>【2学期】 計算技能の習得8～11 数学的な思考1～4</p> <p>【3学期】 数学的な思考5～8</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算、無理数、式の計算、割合、1次方程式、連立方程式、2次方程式、不等式、文章題などについて学習する。 ・図形、データの分析、数と式の計算、1次関数、SPI問題、2次関数などについて学習する。 ・2次関数のグラフ、不等式、三角比などについて学習する。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や式を多面的に見たり、目的に応じて適切に変形したりする力や図形の性質について論理的に考察する力、表や式、グラフを相互に関連づける力などを養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 公差前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、プリントの解き直しを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。 				
教材費	本校で作成した教材を活用するため、特になし				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学探求A (2年次)	単位数	2
授業形態	演習形式				
選んでほしい生徒	看護・医療系学校への進学を希望している人				
科目の目標	受験に対応できる学力を養成する。				
身に付けてほしい学力	1 数学I・Aの内容について理解を深める。 2 受験問題が解けるようになる。				
学習計画	単元・教材			学習のあらまし	
	【1学期】 数学I 第0章 復習 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 (11~15)			・式の展開・因数分解、方程式・不等式、2次関数などについて復習する。	
	【2学期】 数学I 第3章 2次関数 (16~) 第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学A 第6章 場合の数と確率 (31~33)			・三角比、集合、順列・組合せ・確率などについて復習する。	
	【3学期】 数学A 第6章 場合の数と確率 (34~) 第7章 図形の性質 第8章 整数の性質			・三角形・円の性質などについて復習する。	
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	・基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できる技能を身に付けている。		・事象を論理的に考えることや、思考の過程を多面的に振り返ることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上記の視点を踏まえ、定期考査、授業への取組、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 教科書等で復習しながら、できる限り自分の力で問題を解くようにしよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、繰り返し問題を解き直し、解法を理解しよう。				
教材費	問題集 451円 (税込み)				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	実践数学（3年次）	単位数	2
授業形態	演習形式				
選んでほしい生徒	就職を希望している人				
科目の目標	日常生活において必要とされる数学的能力や自分の進路を切り開く力を身に付け、数学検定3級以上を取得する。				
身に付けてほしい学力	1 基本的な計算ができるようになる。 2 ものごとを数学的に見たり考えたりすることができるようになる。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 第1章 比と歩合 第2章 数と式の計算 第3章 1次方程式と1次関数 第4章 図形 第5章 その他 SPI頻出問題 【2学期】 第6章 2次方程式と2次関数 第7章 不等式 第8章 三角比と三角関数 第11章 場合の数と確率 【3学期】 第12章 数列		<ul style="list-style-type: none"> ・比の計算や実数の四則計算をする。 ・1次方程式の計算をする ・三角形の相似を理解し、面積や角度を求める。 ・2次関数の値の変化や最大・最小について理解する。 ・1次、2次不等式の計算をする。 ・三角比について理解し、正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさを求める。 ・順列、組合せについて理解し、基本的な確率の計算をする。 ・数の規則性について理解する。 ・図形の性質を理解し、角度を求める。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や式を多面的に見たり、目的に応じて適切に変形したりする力や図形の性質について論理的に考察する力、表や式、グラフを相互に関連づける力などを養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする姿勢、問題解決の過程を振り返って考察を深め、創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は中学校で学ぶ知識を前提としているので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、プリントの解き直しを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。				
教材費	問題集 310円（税込）				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学探求A (3年次)	単位数	2
授業形態	演習形式				
選んでほしい生徒	看護・医療系学校への進学を希望している人				
科目の目標	受験に対応できる学力を養成する。				
身に付けてほしい学力	1 数学I・Aの内容について理解を深める。 2 受験問題が解けるようになる。				
学習計画	単元・教材			学習のあらまし	
	【1学期】 数学I 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 【2学期】 数学I 第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学A 第6章 場合の数と確率 第7章 図形の性質 【3学期】 数学A 第8章 整数の性質			・式の展開・因数分解、方程式・不等式、2次関数などについて復習する。 ・三角比、集合、順列・組合せ・確率、図形の性質などについて復習する。 ・約数と倍数、ユークリッドの互除法などについて復習する。	
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	・基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できる技能を身に付けている。		・事象を論理的に考えることや、思考の過程を多面的に振り返ることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業への取組、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 教科書等で復習しながら、できる限り自分の力で問題を解くようにしよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、繰り返し問題を解き直し、解法を理解しよう。				
教材費	問題集 539円 (税込み)				
その他	特になし				

令和6年度 シラバス

教科名	数 学	科目名	数学探求B (3年次)	単位数	4
授業形態	演習形式				
選んでほしい生徒	国公立大学や私立四年制大学への進学を希望している人				
科目の目標	大学入学共通テストに対応できる学力を養成する。				
身に付けてほしい学力	1 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの内容について理解を深める。 2 受験問題が解けるようになる。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 数学Ⅰの復習 数学Aの復習 【2学期】 数学Aの復習 数学Ⅱの復習 数学Bの復習 【3学期】 数学Cの復習		<ul style="list-style-type: none"> ・式の計算、命題、方程式・不等式、2次関数、三角比、データの分析、順列・組合せ・確率などについて復習する。 ・整数の性質、整式の計算、複素数、軌跡、三角関数・指数関数・対数関数、微分積分、数列などについて復習する。 ・ベクトルについて復習する。 		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を論理的に考えることや、思考の過程を多面的に振り返ることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業への取組、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 教科書等で復習しながら、できる限り自分の力で問題を解くようにしよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、繰り返し問題を解き直し、解法を理解しよう。				
教材費	問題集 825円 (税込み)				
その他	特になし				